

シリーズ◎オンライン診療・遠隔医療

[🔗 連載をフォロー](#)

緊急寄稿◎フランスでオンライン診療をめぐる訴訟が提起

## オンライン診療の“誤診裁判”は対岸の火事か

2021/05/06

奥田七峰子（日本医師会総合政策研究機構駐仏研究員）

[📄 事件・話題](#)
[🔍 オンライン診療](#)
[🖨 印刷](#)

シェア 13

2

[🐦 ツイート](#)

フランスでは2018年9月、オンライン診療に対する保険適用を認めた。ただしその際、安全性を考慮して、(1) 過去12カ月以内に対面受診を行っていること、(2) かかりつけ医を経由すること、(3) その疾患で初めて出される処方箋についてはオンライン診療では認めないこと——などが示された。だが、2020年の3～5月にかけて未曾有の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）第1波が到来。フランス保健省は2020年3月10日に急ぎ、大幅なオンライン診療の規制緩和を行い、これら3点についても、当初は同年7月末まで限定で、さらにその後COVID-19流行期間限定で撤廃する省令を出した。本省令により、医療機関ではなく民間企業が専業として提供するオンライン診療サービスが初診時から利用可能になり、医師と患者が一度も対面で会わないままに治療を完結させることも可能になった。

フランスでは2018年にオンライン診療が保険適用されたものの、2020年春までに利用した医師は全国11万5000人中わずか3500人。保険適用後の18カ月間で診察件数は延べ32万件であった。だが、患者爆増を受けて、保健省から期間限定で規制緩和の省令が出され、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）への感染リスクを回避できるオンライン診療は、2020年4月25日の週当たり診察件数100万件と一気に増えた。

そんな2020年4月20日、ジャン＝クリストフ・アレマン氏（当時40歳）はオンライン診療サービスで「数日間、極度の疲労感と口渇があり、舌がねっとり白くなる」と相談した。アレマン氏には癌の既往はあるもの、糖尿病についての情報はなかった。対応した医師は、アレマン氏が肥満体形だったことから、「終始一貫してSARS-CoV-2に関する質問だけだった。その可能性が否定されると、画面越しに“よくある”舌カビと診断。抗真菌薬を電子処方されたのみだった」と受診の様子をそばでメモを取りながら見ていた内縁の妻は証言している。しかし、アレマン氏の症状は悪化の一途をたどった。診療から1週間後の同27日には、仕事から帰宅した内縁の妻が意識不明状態のアレマン氏を発見。即、病院に救急搬送されたが、翌日、病院で死亡した。

事件直後、アレマン氏の父親はマクロン大統領に手紙で「息子の死は、オンライン診療だから起きた回避できた死。オンライン診療には限界がある。制度の改正を求めると直訴。2021年4月26日に遺族は過失致死での提訴に踏み切った。遺族側弁護士は「搬送先病院での診断は、低血糖による発作。極めて簡潔な血液検査ですぐに正しい診断・処置が可能であった」「回避可能であった愚かな誤診。複数の医師に確認したが、ほぼ意見が一致



おくだなおこ ●パリ郊外の国際総合病院American Hospital of Paris に医療通訳として勤務の後、現職  
<https://www.naokookuda.fr>

護する理由にはならない」「この裁判はオンライン診療の一般化を今一度振り返り、医師会に、そして医師自身に、適正使用についての深い議論を求めるものである」としている。

4月28日時点で、原告側の賠償請求額などの公表はなく、また、当該のオンライン診療サービスからのコメントもない。

昨年のフランスのCOVID-19第1波において、オンライン診療の有用性は誰もが認めている。今後もオンライン診療の活用が以前の状態まで後戻りするとは考え難い。この点については、多くの医師が同意する。その一方で、筆者の知人の医師らは一様に、「今回のようなかかりつけ医でもなく対面で会ったことが一度もない“オンラインだけ診療”については問題がある」と指摘、「アレマン氏のような患者が来院していれば、まずその場で血液検査を指示したであろう」と異口同音にコメントしている。

フランスでは、民間企業が手掛けるオンライン診療サービスの広告に対して「コンビニ受診助長につながりかねない」という批判の声が強く、オンライン診療の適用も「安定している慢性患者に対し、薬を変えずに処方するケースに限定すべきだ」と指摘する医師も多い。仏社会保障疾病金庫データによると、2020年のオンライン診療件数はのべ1900万件だったという。無医村問題や、場所・移動時間の制限がないという利便性について疑いの余地はないオンライン診療だが、メリットがデメリットを確実に上回るように、今後、その適正使用の議論が深まるものとみられている。

1

シェア 13

2

ツイート

## 連載の紹介

### シリーズ◎オンライン診療・遠隔医療

新型コロナウイルス感染症などの影響で、規制緩和が進んだオンライン診療。テレビ電話を用いた診療のほか、専門医とかかりつけ医とをネット上でつなぐ遠隔医療、最新の5G技術を用いた遠隔手術などの最新情報をお届けします。

⊕ 連載をフォロー

## この連載のバックナンバー

### オンライン診療の“誤診裁判”は対岸の火事か

2021/05/06

### 「LINEドクター」のデータ管理体制で公式見解

2021/03/28

### LINEドクターがオンライン診療で目指すもの

2020/12/23

### 初診のオンライン診療の対象、ルールなど検討